自らを考え行動し、共に生きる　心の目、心の耳を働かせよう
～沈黙、内省、実行～

聖心だより

https://www.tky-sacred-heart.ed.jp

２０２６年１１月５日
聖心女子学院初等科
校長　藤原　恵美
１１月号

燃え立つ心は壁をこえて

宗教科主任　佐藤潔人



１１月は、聖フィリピン･デュシェーンの祝日があり初等科、中高等科でお祈り会と講演会が行われます。１１月２９日から待降節を迎え、教会ではクリスマスを迎える準備が始まります。

ようやく修道生活を始めることになった聖フィリピン･デュシェーンの毎日は順調なものではありませんでした。後にマザーバラとフィリピンの出会いをもたらすヴァラン神父に対して、フィリピンは「神は大きく飛ぶように働かれるとのことです」（詩編 19：６）と述べ、一刻も早い出会いを希望します。どんな困難があっても粘り強く、じっくりというイメージがフィリピンには強いですが、熱い思いを持つ一面がときどき顔を覗かせます。

次の聖書の箇所は、短くフィリピンの生涯を表現します。「なんと美しいことか、山々を超えて、善い知らせをもたらす者の足は」（イザヤ 52：７－10）といってフィリピンはマザーバラに近づきます。フィリピンを世界中に善き知らせを伝えたいと駆り立てる光景がここから広がります。多くの困難の中、失敗もあり実りもあったフィリピンの一生は、一粒の麦は地に落ちて死ななければ命を生むことはできないという福音の言葉を表現しています。（ヨハネ 12：20－26）

聖フィリピン･デュシェーンの旅というテーマで授業を行った際、子どもたちに「どうして聖フィリピンは粘り強く困難を乗り越えていったのだろう。意思が人一倍強かったのだろうか」と質問したことがありました。そうしたら数人の子どもたちが、「そういう性格もあったと思うけど、大きな夢を持っていたからだと思う」「信じる気持ちから生まれたのだと思う」と発言してくれました。

宗教のある学校で学ぶということは、自分自身の生き方を学ぶとき、自分を超える大きな価値にてらして学ぶということです。小さな自分でも自分で考え自分で決めて、自分で実行に移していける。自分のためだけでなく他人のために役立つ行動さえできる。自分を超える大きな存在を感じるから、価値を感じて自分を育てていけるということです。

フィリピンは、自分をつつむ大きな存在を人一倍感じ、不器用なまで正直に生きてまわりの人々と共有しようとした人です。フィリピンは、その生涯を「燃え立つ心は国境を越えて」と賞賛されています。今の私たちがフィリピンから学ぶことは、自分を超える大きな価値にてらして「燃え立つ心は壁を越えて」ということでしょうか。

クリスマスの物語は、若いマリアとヨセフの物語から始まります。若い二人も自分たちを包む大きな存在に希望を託し、旅に出ます。「お言葉どおり、この身に成りますように」（ルカ１：38）

聖フィリピン･デュシェーンの旅と聖マリアと聖ヨゼフの旅に学び、この１１月を幼い魂のために祈り、その育ちを共に見守って行ければと思います。

～ 1st English Day ～







～ 授業の一コマ ～









本館の改修工事について

キャンパスグランドデザイン委員会 大石葉月



小聖堂

今年度春から、本館の改修工事が進んでいます。南側は、１階に事務室、修道院があった２、３階には宗教室やマルチメディア室、面談室などができます。修道院でシスター方が大切にしてきた２階の小聖堂は、今後も児童・生徒たちが神様の存在をより身近に感じる場所として残ります。小聖堂前にはギャラリースペースが作られ、将来的に中央校舎の２階と渡り廊下でつながる予定です。

２、３階の北側には、初等科第２理科室を含めた６つの理科室が設置されます。廊下には、理科的な展示に触れながら興味関心を高める空間がつくられます。理系への進学希望者も増える中、知的好奇心をくすぐるような学びを深める環境を整えていきます。３階奥には、美術室と書道室が作られます。廊下には作品を展示できるスペースを設け、生徒たちの表現と鑑賞の場となります。互いの作品に触れ、感性を磨く機会も増えていくことでしょう。



本館2階ギャラリースペース



芸術ゾーン 展示スペース

なお、第１体育館のある特別棟の２階にあった LL 教室などは初等科英語室に生まれ変わります。将来的に新校舎の４階にも英語ゾーンができますが、こちらは初等科校舎にもより近く、ファーストステージの英語室として先に利用を始めます。英語に親しみやすい空間になることでしょう。

来年度の夏頃には、生徒プロジェクトとして進めている生徒用ラウンジの工事も始まります。現初等科の皆さんが中高等科生になったときによく利用する場になることと思います。自分らしく過ごし自主性を伸ばせる場、体験を重視し感性を磨く場、問題解決力を養う機会を充実させ、関心をもって学び続けられる環境を整えていきたいと考えています

11 月より寄付サイトも開設いたします。皆様のご理解・ご協力をいただきながら教育環境の充実に努めてまいります。ご支援いただけますと幸いです。



生徒用ラウンジ

１１月の行事予定

１日（日）	初等科入学試験
２日（月）	学校指定の休業日(初等科)
３日（火）	文化の日
４日（水）	学校指定の休業日(初等科)
６日（金）	４年社会科見学・保護者静修会
１０日（火）	一日学校参観日 (3･4 限保護者講演会)
１１日（水）	新１年生保護者会
１４日（土）	転入・編入・帰国生学校説明会
１６日（月）	６年進学説明会
１７日（火）	聖フィリピン･デュシェーンの祝日行事(1st)
１８日（水）	聖フィリピン･デュシェーンの祝日講演会(2nd)
１９日（木）	教員研修会６限(5 限まで授業)
２０日（金）	聖心会創立記念日
２３日（月）	勤労感謝の日
２５日（水）	６年まとめのテスト
２６日（木）	６年まとめのテスト ５年英単語検定(4 限)
２７日（金）	６年 CW 合同演習(1･2 限)
２９日（日）	待降節第１主日
３０日（月）	１年・転入編入保護者会

※１２月１日（火）・２日（水）　作文発表会